

雑草・病虫害防除は早めに

田植え時からの高温で苗の活着は順調であります。表層剥離や強風による枯れ等で苦慮されていることと存じます。早期に田植えが終了した圃場では、雑草の発生も見られておりますので、早めの除草剤散布を心がけてください。また、代枯れ症状が見られた圃場については、除草剤の影響を受けにくくなる新葉の出葉が確認されるのを待って散布してください。

また、初中期一発剤の使用後に雑草の残った場合は、以下の薬剤で対応してください。

1. 中・後期除草剤の雑草防除

薬剤名		成分数	使用時期	ル [*] エ葉令	適用雑草
ヒエ剤	クインチャー-1キロ粒剤	1	田植後7日～ 収穫30日前	4.0葉	ノビエ
	クインチャー-EW乳剤		田植後20日～ 収穫30日前	6.0葉	ノビエ 展着剤加用 10a当り100ml/水25～100ℓ
ヒエ・広葉剤	レブラス1キロ粒剤	4	田植後14日～ 収穫60日前	4.0葉	オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、ホタルイ、マツバイ
	ワイドショット1キロ粒剤	2	田植後15日～ 収穫45日前	4.0葉	オモダカ、クログワイ、セリ、マツバイ、ホタルイ
	クインチャー-バスME液剤	2	田植後15日～ 収穫50日前	5.0葉	ノビエ、広葉雑草 10a当り1,000ml/水70～100ℓ
	アトトリ1キロ粒剤	1	田植後20日～ 収穫45日前	4.0葉	ノビエ、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ
広葉	ハサグラン液剤	1	田植後15日～ 収穫50日前	広葉雑草 落水又はごく浅水で使用 10a当り500ml/水70～100ℓ	

2. 病虫害防除

一部圃場でイネミズゾウムシの発生が目立っております。畦畔沿いを主体に確認のうえ、発生の多い圃場ではつぎの薬剤で防除に努めてください。

薬剤名		成分	使用量/10a
トレボン	粒剤	1	2.0 kg
	粉剤DL		3.0 kg